

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	文化財保護に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	犬塚俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	開発事業における文化財所在の事前確認を周知徹底する。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	前年度に引き続き、開発事業における文化財所在の事前確認を周知徹底する。
②①に基づく取組み結果	窓口対応の徹底を行うとともに、窓口で得た情報について、共有を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内遺跡、指定文化財等	意図(対象をどうするのか)	現状保存を目指すのが不可能な場合は発掘調査等による記録保存を行なう。
②事務事業の概要	貴重な文化財が失われたり、き損することがないように適正な管理を行うとともに、活用の促進を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	首都圏近郊に位置する本市の地理的環境により、各種開発の波が市内にもおよび、埋蔵文化財(遺跡)の保存策を講じる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)市指定文化財の管理 市指定文化財29件中、市所有以外のもの26件について管理費の助成を行った。 (2)埋蔵文化財の保護 埋蔵文化財確認のあった46件の事業に対し、埋蔵文化財包蔵地に該当する9件について確認調査を行うとともに、下総小金中野牧跡(野馬土手)の測量調査を2件行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	発掘調査件数	9	6	9	件	業務取得
	ii	発掘調査面積	8,435	5,027	4,511	m ²	業務取得
	iii	埋蔵文化財窓口確認数	-	741	745	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	4,701	4,963	金額(千円)	内容	5,615		
国支出金(千円)	1,800	1,800	300	市指定文化財管理費報償	1,500		
県支出金(千円)	450	450	3,784	市内遺跡発掘調査費用	300		
市債その他(千円)	0	0			0		
一般財源(千円)	2,451	2,713			3,815		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業予定地の埋蔵文化財の有無について、事業者側の確認漏れがあるため、徹底していくことが課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	文化財保護事業は行政の責務であり、調査件数が増加すると見込まれる中、今後も継続して実施する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	文化振興に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	犬塚俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	芸術文化活動への参加機会の周知を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	芸術文化活動への参加機会の更なる周知を図る。
②①に基づく取り組み結果	市民参加の機会の創出及び参加者の募集		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内に在住・在勤・在学する人	意図(対象をどうするのか)	芸術文化に関心を持ち鑑賞能力や豊かな情操を身につけ自らも活動する。
②事務事業の概要	市民が積極的に文化活動に参加し、多様な文化活動を展開してうるおいのある生活が実現できるよう、優れた芸術文化を鑑賞する機会を広く提供する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	行政が提供する事業を鑑賞するという受身的な意識から「行政とともに事業を創り、運営する」という協働型の事業展開を望む市民(団体)の増加が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	芸術鑑賞教室(歌舞伎、能楽、文楽)の実施。市民文化祭の実施及び市展の共催。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	鑑賞教室応募者数	1,570	411	433	人	業務取得
	ii	市主催芸術文化事業参加・発表者数	1,600	1,664	1,910	人	業務取得
	iii	市主催芸術文化事業来場者数	8,784	8,109	6,975	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	2,438	1,659	金額(千円)	内容	4,901		
国支出金(千円)	0	0	1,024	非常勤職員賃金	0		
県支出金(千円)	0	0	20	芸術鑑賞教室	0		
市債その他(千円)	0	0			0		
一般財源(千円)	2,438	1,659			4,901		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	芸術鑑賞に対する関心が高まり、事業参加者が増加しているため、応募方法等の検討をして、多くの市民が参加できる機会をつくっていくことが課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	鑑賞機会の提供は地域アイデンティティの形成、ひいては文化を大切にする社会の構築に不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	犬塚俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	周知普及事業等の実施により、市民周知度を上げる。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	周知普及事業等の実施により、さらに市民周知度をあげるとともに、整備事業を進めていく。
②①に基づく取組み結果	周知イベントを行い、市内外に史跡の重要性を伝えた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	国史跡下総小金中野牧跡 捕込・野馬土手	意図(対象をどうするのか)	市民に親しまれる史跡をめざし、整備保存する。
②事務事業の概要	国史跡を広く周知するとともに、適正な管理を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	史跡を保護するために国史跡として公有化を進め、指定後は周知普及に努めた結果、市の地域資源として市民に浸透してきたことにより、整備を望む声や国史跡以外の野馬土手の保存を望む声が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	職員による清掃管理に加え、7件の清掃管理委託事業により維持管理を行った。また、周知普及イベントを10件行い、市内外に史跡の重要性を伝えた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	国史跡取得面積	6,000	6,000	6,000	m ²	業務取得
	ii	周知普及参加者数	1,251	6,569	8,610	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	1,985	1,881	金額(千円)	内容		4,684	
国支出金(千円)	0	0	1,381	清掃管理委託		0	
県支出金(千円)	0	0	500	実行委員会負担		0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	1,985	1,881				4,684	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	周知普及イベントの参加者は年々増加しているが、さらなる参加者確保を目指して、事業展開していくことが課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	史跡地を公有化し保護活用することは芸術文化振興を図る上で極めて重要で、整備をし広く周知する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	清掃管理・普及活用	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	7件の清掃管理委託と10件の普及活用イベントの実施	2,000	2,000	当初	2,000	1,881	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
				補正	0			
③達成状況	完了			流用・充当	0	現年分	1,881	
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	出土文化財基礎整理作業事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	犬塚俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	委託する資料の選別業務を適切に行うことにより、残される基礎整理作業量の軽減を図るよう務める。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度事業完了
②①に基づく取り組み結果	本事業にて40%弱の基礎整理作業が進み、長年課題となっていた基礎整理作業が残り20%を切ったことは、大きな成果である。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内遺跡(中沢貝塚)出土の未整理資料	意図(対象をどうするのか)	整理作業を行ない、適切な保管・管理を図る。
②事務事業の概要	貴重な文化財が失われたり、き損することがないように適正な管理を行うとともに、活用の促進を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本事業の対象資料は、中沢貝塚の資料が記録保存から20年以上経過してもなお、半分程度の未整理資料を残しており、長年の課題であった。また地域住民の地域文化財に対する関心は増加しており、中沢貝塚に対しての関心も今後一層増すことが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	記録保存を行った成果として採取し、保管している出土資料の貝サンプル水洗・選別作業について、整理用コンテナ650箱分の作業を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	未整理資料	-	1486	800	箱	業務取得
	ii	基礎整理完了資料	-	686	650	箱	業務取得
	iii	整理作業完了率	-	46	81	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	14,595	25,935	金額(千円)	内容	0		
国支出金(千円)	14,595	25,935	25,935	出土文化財基礎整理作業事業委託	0		
県支出金(千円)	0	0			0		
市債その他(千円)	0	0			0		
一般財源(千円)	0	0			0		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	予定していた整理作業量を終了した。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	予定していた整理作業を終了した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	資料の水洗選別等	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	貝サンプル水洗選別650箱	41,348	41,348	当初	41,348	25,935	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	25,935
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)文化センター整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	犬塚俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	施設整備にあたって条例、規則の制定および備品等の準備、移転に係る準備が必要となる。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度事業完了
②①に基づく取り組み結果	各事務段階において意思決定をはかり、業務の適正な進行を管理する。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	(仮称)文化センター	意図(対象をどうするのか)	工事監理によりセンター整備工事の適正な実施を確保する。
②事務事業の概要	民間商業施設建替え計画に伴い、同建物内に文化ホール設備、公民館機能を備えた(仮称)文化センターを民間企業との協定締結により整備しようとするもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民芸術文化団体を中心として、長く文化ホールの建設要望があった。民間商業施設建替え計画を契機に設置することとなった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	建物工事進捗の監理・確認及び確認書による完了後の引渡し					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	設置面積	-	3,785	3,785	m ² 業務取得
	ii	工事進捗割合	-	0	100	% 業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)	48,925	880,050	金額(千円)	内容		0
国支出金(千円)	0	0	3,360	整備工事監理委託		0
県支出金(千円)	0	0	6,138	賃貸料		0
市債その他(千円)	0	0	868,250	整備工事(継続費)		0
一般財源(千円)	48,925	880,050	2,205	きり鎌ヶ谷市民会館外壁サイン取付工事		0

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	整備は終了し、事業担当に引渡しを行なった。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	整備は終了し、事業担当に引渡しを行なった。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	センター整備・駐車場整備・中央公民館一部解体	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	建物の完成	961,354	884,809	当初	884,740	880,050	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正			現年分	880,050
④未完了・非着手の理由				流用・充当	69			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民体育館耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	25年度は工事に入るため、工事に支障がないよう、事務処理や調整事項を速やかに処理する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度事業完了
②①に基づく取組み結果	調整等を円滑に行えたことから、工事も計画通り実施できた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民及び利用者の安全	意図(対象をどうするのか)	市民体育館の耐震化
②事務事業の概要	地震災害に対する市民体育館の安全性を確保し、必要な耐震性能の確保を図るため、耐震診断結果に基づき、耐震改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公共施設の耐震改修工事は、市民の生命を守る観点から必須の事業であり、国の交付金の活用等による事業の早期実現は妥当である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	耐震改修設計に基づき、市民体育館の耐震改修工事を実施し、必要な耐震性能の確保が図れた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	体育館管理棟のIS値	0.61	0.61	0.9以上	—	業務取得
	ii	体育館アリーナ部分のIS値	0.70	0.70	0.9以上	—	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	12,285	157,000	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	52,333	4,095	市民体育館耐震改修工事監理委託		0	
県支出金(千円)	0	0	152,905	市民体育館耐震改修工事		0	
市債その他(千円)	0	104,600				0	
一般財源(千円)	12,285	67				0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	工事実施に当たり、利用団体との調整を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成25年度中に計画通り終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市民体育館の耐震改修工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	耐震改修工事を完了した。	215,000	215,000	当初	215,000	157,000	H24からの繰越	157,000
				H24⇒25繰越	215,000		現年分	0
③達成状況	完了			補正	△ 215,000			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民体育館施設改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	〇
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	12いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	トレーニングルームの設置により、利用者の増加が見込めることから、利用者への直接サービスにつながる設備改修を行う。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	非常用電源(バッテリー)	意図(対象をどうするのか)	市民体育館の非常用電源の確保
②事務事業の概要	市民体育館の非常用電源の蓄電池を交換するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	非常用の電源は消耗品のため数年に一度は交換する必要がある、今後もこの事業の必要性がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市民体育館にある非常用電源の蓄電池を54個交換した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 更新設備数	0	0	54	—	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	0	6,510	金額(千円)	内容	23,162	
国支出金(千円)	0	0	6,510	市民体育館非常用電源蓄電池	0	
県支出金(千円)	0	0			0	
市債その他(千円)	0	0			17,300	
一般財源(千円)	0	6,510			5,862	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	定期的に交換を要するため、今後計画的な交換を意識する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	引き続き施設の長寿命化等のため必要な改修を行っていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市民体育館施設改修	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	非常用の電源のバッテリー交換	8,419	6,510	当初	8,419	6,510	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	6,510
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,909			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)弓道・アーチェリー場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	関係各課との調整を図り、4月末に事業を完了する。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	弓道場及びアーチェリー場の整備を行う。	意図(対象をどうするのか)	両施設の整備
②事務事業の概要	旧市民プールを解体し、その跡地に(仮称)弓道・アーチェリー場を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業を前倒して建設まで行うこととなったが、生涯スポーツの観点からも、今後大きな利用を見込める施設であると考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	旧市民プールを解体し、その跡地に、弓道場・アーチェリー場の建設を行い、施設の建物工事を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	施設(弓道及びアーチェリー場)建設数	0	0	2	棟	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	96,044	金額(千円)	内容		170	
国支出金(千円)	0	80,768	1,750	施設用消耗品		0	
県支出金(千円)	0	0	8,581	(仮称)弓道・アーチェリー場整備工事設計委託他3件		0	
市債その他(千円)	0	0	82,971	(仮称)弓道・アーチェリー場整備工事他2件		0	
一般財源(千円)	0	15,276	2,742	施設用備品		170	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	運営について、初心者等の受入態勢を十分に確保することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	本体工事は完了したが、大雪等により外構工事が4月末までと事故繰越となったため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市民プール解体。弓道場及びアーチェリー場の設計及び建設を行う。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市民プールの解体。弓道場、アーチェリー場の設計及び建設。	103,802	104,162	当初	18,709	96,044	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	96,044
③達成状況	未完了			補正	85,093			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	360			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	7,199			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	テニスコート改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	〇
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成25年度完了
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市営庭球場	意図(対象をどうするのか)	コート面の増設及び砂入り人工芝化を実施する。
②事務事業の概要	市営庭球場を3面から4面に1面増設するとともに、クレイコートから砂入り人工芝のコートに改修する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	砂入人工芝のテニスコートに改修することにより、多くの利用者を見込むことができる			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市営庭球場を1面増設し、すべてのコートを砂入り人工芝に改修した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	市営庭球場の面数	3	3	4	業務取得
	ii	市営庭球場の砂入り人工芝化	0	0	4	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	0	68,743	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	0	56,000	4,814	市営庭球場改修工事設計委託他4件	0	
県支出金(千円)	0	0	63,193	市営庭球場改修工事他2件	0	
市債その他(千円)	0	0	736	施設用備品	0	
一般財源(千円)	0	12,743			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改修工事後、利用再開後の利用率について注目していく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	平成25年度中に計画通り終了したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市営庭球場の砂入り人工芝コート化及び1面の増設	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	改修事業を完了した	67,704	73,277	当初	58,740	68,743	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	12,054		現年分	68,743
④未完了・非着手の理由				流用・充当	2,483			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)						0

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	トレーニングセンター統廃合事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	犬塚 俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成25年度完了
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	トレーニング機器	意図(対象をどうするのか)	機器の更新
②事務事業の概要	トレーニングセンター機能を市民体育館内に移設するとともに、老朽化した機器を更新する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	トレーニングルームは、旧トレーニングセンターと比べ設置エリアに限度がある等、環境が異なるため、利用者数や意見等を把握し、運営に反映させる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市民体育館内にトレーニングルームを設置し、39台のトレーニング機器を設置した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	新規トレーニング機器の更新数	1	0	38	機	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	0	23,532	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	0	113	トレーニング機器等借上料		0	
県支出金(千円)	0	0	4,725	市民体育館ラウンジ・バーティション設置工事他4件		0	
市債その他(千円)	0	0	18,694	トレーニング機器		0	
一般財源(千円)	0	23,532				0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	トレーニングルームの利用率等に注目する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成25年度中に計画通り終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	トレーニング機能を移転、機器の更新及びトレーニングセンターを廃止。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	トレーニング機能を移転、機器の更新及びトレーニングセンターを廃止。	32,033	30,088	当初	32,033	23,532	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	23,532
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,945			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	郷土資料館の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	簡易修繕と展示替え、並びに教育普及の拡充等で工夫しながら事業を進めていく。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	簡易修繕と展示充実、並びに教育普及の拡充等を工夫しながら事業を進めていく。
②①に基づく取組み結果	簡易修繕や講座の拡充等で工夫しながら事業を達成した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	先人達の足取りとその生活を知り、生涯学習や学校教育で活用してもらう。
②事務事業の概要	郷土の歴史、民俗等に係る資料を収集・調査・研究・整理を行うと共に資料の展示及び各種の講座、教室等を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生涯学習においては、市民の知的欲求を満たし文化財保護や郷土意識の心を育むこと。学校教育においては、教育現場での効果的な学習ができるように支援すること。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)郷土資料の収集 (2)常設展示 (3)企画展示 (4)講座・教室 (5)講師派遣					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	来館者数	5369	5168	6286	人 業務取得
	ii	展示事業実施回数	2	2	3	回 業務取得
	iii	教育普及事業実施回数	25	30	39	回 業務所得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)	7,320	6,667	金額(千円)	内容		11,233
国支出金(千円)			27	市史編さん審議会委員報酬		
県支出金(千円)			6,640	施設管理運営費		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	7,320	6,667				11,233

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ソフト(展示・教育普及)には市民ボランティアを活用し、ハード(施設)では簡易修繕制度を利用し整備する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市民ボランティアを活用した企画を実施、簡易修繕制度を利用した施設整備を実施した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	鎌ヶ谷市史編さん事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市史刊行計画に沿った事業を今後も進めていく	③平成26年度に取組む改革・改善内容	市史刊行計画に沿った事業を今後も進める。
②①に基づく取組み結果	市史刊行計画のとおり事業が進んでいる。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	先人の足跡を辿りその生活等を知ること で、ふるさと意識を持って生活すること。
②事務事業の概要	「鎌ヶ谷市史刊行計画」に基づき、郷土の歴史、民俗等に係る資料を収集・調査し、鎌ヶ谷市史の執筆・刊行を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内に残されている自然、民俗などの資料や文化財を収集・保存し、展示することを目的とした郷土資料館が昭和62年に開館。生涯学習・学校教育において歴史の関心が高まる中、市史が完成していないことや資料の多くが展示できていない状況。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)郷土資料の整理調査、史料調査(55件)、史料整理・目録作成(6,775点)を行った。 (2)約3万年前の旧石器時代から平安時代初期に至る市域の歴史を記した『鎌ヶ谷市史』上巻(改訂版)を刊行した。 (3)新たに発見、確認された重要な歴史事項についてまとめた『鎌ヶ谷市史研究』第27号を刊行した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習・学校教育の場での利用	6,344	6,815	8,414	人	業務取得
	ii	刊行物点数	2	2	2	点	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	13,018	12,178	金額(千円)	内容	9,040		
国支出金(千円)			1,668	印刷製本費			
県支出金(千円)			10,510	市史編さん委託			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	13,018	12,178			9,040		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成26年度市史研究第28号の刊行					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市史刊行計画に沿って市史研究第28号を刊行する。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	鎌ヶ谷市史『上巻』[改訂版]の刊行。市史研究『第27号』の刊行	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	上巻750冊、市史研究650冊	14,415	14,415	当初	14,415	12,178	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	12,178
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
平成26年度への繰越額(単位:千円)							0	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	郷土資料館改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	外壁・屋上防水改修工事業	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	25年度に引き続き、長寿命化に関する基本指針に基づき、外壁・屋上防水改修工事を行う。
②①に基づく取り組み結果	平成25年度中に完了予定であったが、26年度へ繰越となり、完成に向け実施中。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	生涯学習や学校教育の場として、安全で快適な施設にする。
②事務事業の概要	「長寿命化に関する基本指針」に基づき、郷土資料館の外壁改修・屋上防水改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	文化財保護や郷土意識を育み市民の文化的要求を満たす施設であり、教育現場での効果的な学習を支援できる施設とするため、平成24年9月の公共施設の長寿命化に関する基本指針に基づき、改修工事を続けている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	郷土資料館外壁改修・屋上防水改修工事に係る工事設計を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事設計の完成			1	件	業務取得
	ii	工事の完成			0	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	1,289	金額(千円)	内容	25,133		
国支出金(千円)			1,289	郷土資料館外壁・屋上防水改修工事設計委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	0	1,289			25,133		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	資料館の老朽化が進み、長寿命化に関する基本指針で雨漏れ防水工事を行う。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	古い、狭いなど利用者からの意見もあり、展示施設の拡充や保管施設の設置には多額の費用も必要。計画的に施設の改修・検証が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	外壁・改修屋上防水工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	工事設計まで完了。	26,649	26,649	当初	21,878	1,289	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	1,289
③達成状況	未完了			補正	4,771			
④未完了・非着手の理由	工事入札の不調			流用・充当	0			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		25,133		